

木曽三川流域の生態系ネットワーク形成に関連する地域の取り組み発信

平成29年3月に第1号のエコネットニュースレターが発刊されて、約9年間エコネット応援団の皆様の活動を発信し続け、ついに今回30号に到達いたしました!今回は、デザインを一新し、エコネット応援団の皆様の交流の場として毎年行っている「エコネットカフェ」や、3つのイベントでの広報啓発活動報告についての記事を掲載しております。ぜひご覧ください!!

「エコネットカフェ2025-若い力による生態系ネットワーク取り組み推進-」を開催しました!

岐阜県各務原市 2025.12.13[土]

令和7年12月13日(土)に「エコネットカフェ2025-若い力による生態系ネットワーク取り組み推進-」を水辺共生体験館で開催しました。当日は、多くの高校生をはじめとし、総勢74名26団体の皆様に参加し、活発な意見交換が行われました。

今回のテーマ「若い力による生態系ネットワーク取り組み推進」にもある通り、若手を中心に活動発表やポスター発表、グループディスカッションを行いました。エコネット応援団に参加する団体だけでなく、自然に関する活動を行う高校生にもゲスト参加いただきました。グループディスカッションでは、生き物や活動に興味をもってもらうためにできることや活動の継続について、活発に話し合いが行われていました。

参加した皆様からは、「大人と交流できる貴重な機会でもとても面白かった」、「同じ分野に興味を持って活動している人たちと話す機会は貴重で、楽しかった」、「グループディスカッションで盛り上がり、もっと時間が欲しかった」などの意見をいただいております。有意義な意見交換となりました。来年度以降も引き続き実施したいと思います。

エコネットカフェ2025

プログラム 2025年12月13日 13:00~16:30

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会
- 13:10 【第1部】活動発表
- 13:50 【第2部】ポスター発表・自由交流
- 14:50 【第3部】意見交換会
- 16:25 総括
- 16:30 閉会

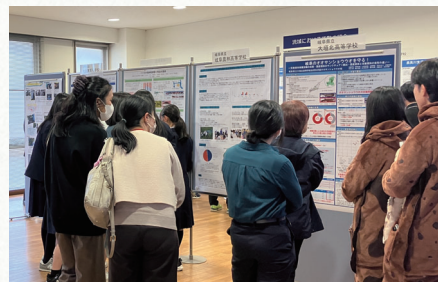
▲エコネットカフェ2005プログラム

【第1部】活動発表



▲GAIAによる活動紹介

【第2部】ポスター発表・自由交流



▲ポスター発表の様子

【第3部】意見交換会



▲グループディスカッションで活発に意見交換する様子



▲集合写真



▲自由交流でお菓子などを楽しむ様子



◀イタセンバラやハリヨをモチーフとしたお菓子も楽しんでもらいました

「リバーサイドカーニバル2025」にブース出展!

岐阜県笠松市 2025.10.25[土]

令和7年10月25日(土)、笠松みなと公園において開催された「リバーサイドカーニバル2025」にて、木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局(木曽川上流河川事務所)がブースを出展しました。イベント当日は、キッチンカーやショップが立ち並び、秋の盆踊りが行われるなど、家族連れを中心ににぎわいました。出展したブースでは、イタセンバラやハリヨの紹介や木曽三川流域生態系ネットワークの取り組みについてパネル展示を行いました。指標種により親しみを持ってもらうために指標種の缶バッジのガチャも行い、小さいお子さんに喜んでいただきました。130人を超える来場者がブースに立ち寄り、展示や説明を通じて理解を深めていただきました。来場者へのアンケート結果では、木曽三川流域での環境保全活動の取り組みについて75%以上の方が「機会があれば参加したい」と回答し、取り組みに対する関心の高さがうかがえました。



▲ブース出展時の様子

川の生きもののふれあい体験を行いました！

ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会事務局からの報告
岐阜県海津市 2025.10.19[金]

令和7年10月17日に、海津市立下多度小学校4年生の皆さんと川の生きもののふれあい体験を津屋川で実施しました！ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会の活動の一環として、石倉カゴを用いたニホンウナギの生態調査を題材に、身近な川の生物や生態系ネットワークについて理解を深めました。午前は、津屋川にはどんな生物がいるか、生態系ネットワークとは何かについて授業を行い、また川で遊ぶときに気を付けた方がよいことについても学んでもらいました。午後からは津屋川に移動して、ニホンウナギの研究を専門とされている九州大学の望岡先生にその生態について詳細にご説明いただき、設置してから約3カ月が経過した石倉カゴにはどんな生き物が入ってきているかを観察しました。今年は、今後の石倉カゴを用いた保全や利活用に向けた新しい試みとして従来より小さいサイズ（縦、横50cm、高さ25cmで重さは約8分の1）の石倉カゴも設置しました（※従来サイズは縦、横1m、高さ50cm）。調査の結果、小さいサイズの石倉カゴでもニホンウナギたちの生息が確認され、今後の石倉カゴの取組にとって重要な知見を得ることができました。児童の皆さんも石倉カゴから引き揚げられたニホンウナギを含む魚類や、エビ、カニ等の生物を夢中になって観察をしていました。

石倉カゴでとれた様々な生き物たちと触れあう体験を通して、身近な川の生き物やその環境の大切を皆さんに知ってもらうことができたのではないかと思います。

〈午前：授業〉



▲川の生き物に関する授業を実施しました！

〈午後：生きもののふれあい〉



▲従来サイズよりも小さい石倉カゴ

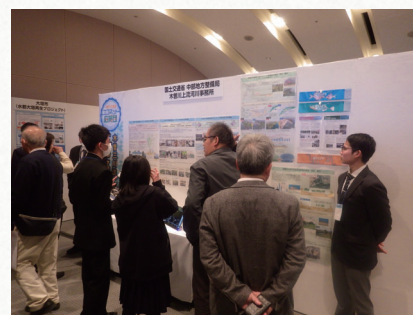


▲子供たちは津屋川の生き物に興味津々！

水都大垣 水循環フォーラム2025が開催されました！

岐阜県大垣市 2025.12.2[火]

令和7年12月2日（火）に大垣市情報工房で水都大垣水循環フォーラム2025が開催されました。大垣市では、令和5年度から「水都大垣再生プロジェクト」を推進しており、その一環として、全国各地の水環境保全に取り組む自治体や団体との交流を深め学びあう機会として、本フォーラムが開催されました。持続可能な未来に向け、新たな水循環社会のあり方について、湧水保全をはじめ、様々な観点で考える機会となりました。エコネット応援団からも複数団体がポスターセッションに参加しており、参加者との活発な意見交換を行ってまいりました。パネルディスカッションやポスターセッションに参加されたエコネット応援団の皆様からコメントも一緒にお届けします。



▲木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局（木曽川上流河川事務所）も出展し、多くの方に取組を知っていただきました



▲水循環フォーラムのチラシ

《エコネット応援団の皆様からコメント》

環境省 中部地方環境事務所

水辺環境に関心を持つ多くの参加者みなさまと議論することができ、イタセンバラ保全の重要性を共有できた有意義なフォーラムでした。

世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ

テーマ「水を巡る地域教育」に対して都市化した濃尾平野の課題と展望について述べたところ、多くの建設的なご意見をいただきました。

岐阜県立大垣東高校

多様な資源としての「水」の大切さを学び、湧水とそこに生息する生物を守る方々の熱意に触れることができて良かったです。

加賀野名水保存会

ポスターセッションでは、多様なテーマのポスターがあり、説明者とも様々な観点で話ができて、多くの情報を得ることができました。

大垣市環境政策課

全国からご参加いただいた皆さまとの活発な交流を通じて、水を守る取り組みの輪が広がりました。今後も流域一体の水循環保全に貢献できるよう、水都大垣の再生に取り組んでまいります。

【編集後記】今回30号という区切りで、より多くの方に読んでいただきたいという思いで、デザインを一新いたしました！これからもエコネット応援団の活動を広く知ってもらい、興味を持ってもらうためにも、より良い記事を作ってまいりますので、よろしくお願いいたします。ご一読いただき、ありがとうございました。



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会（事務局：国土交通省木曽川上流河川事務所）は、流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力向上と人と自然、人と人の絆を深めることを目的とし、生態系ネットワーク形成に関する取り組みを推進しています。協議会では、自然環境を保全・再生・創出してつなげる「生態系ネットワーク形成」に関連する活動を行う「木曽三川流域エコネット応援団」を結成し、エコネット応援団の情報共有を通じて地域の交流・協働を促進しています。

SNSで情報を発信中！



木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会事務局

国土交通省 木曽川上流河川事務所 流域治水課

岐阜県岐阜市忠節町5-1

e-mail: cbr-kisojyo-chosa@mlit.go.jp

tel: 058-251-1125



ニュースレターのバックナンバー
（木曽三川流域生態系ネットワーク HP 内）